

気管支ぜんそくを予防

生後6カ月まで完全母乳

富山大エコチル調査富山ユニットセンターの稲寺秀邦同大名誉教授らの研究グループは18日、生後6カ月まで完全母乳で育てた場合、子どもの気管支ぜんそくに予防効果がある一方で、食物アレルギー発症のリス

富山大が調査

クを高める可能性があるとの研究結果を発表した。

研究は環境省の子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）の一環で、全国の約8万8千組の母子を対象に実施。生後6カ月までの授乳方法と、6歳までのアレルギー疾患の発症リスクとの関連を分析した。調査の結果、人工ミルクのみ

食物アレルギーリスクも

に比べて、完全母乳で育てた子どもは気管支ぜんそくの発症リスクが生後0カ月から2歳未満、アレルギー性鼻結膜炎の発症リスクが1歳から2歳未満の期間で低下することが判明。一方で、食物アレルギーの発症リスクは生後0カ月から3歳未満の期間で上昇することも明らかになった。

食物アレルギーは原因食品を早期に摂取することで発症リスクが低下するとして、稲寺名誉教授は「母乳育児を継続しながら、生後4〜6カ月ごろから固形食を少しずつ食べてほしい」と話した。

研究成果は4月、国際医学誌に掲載された。